

# 平成 28（2016）年度事業報告

## 《公益目的事業Ⅰ：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する 調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

### 【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、平成 2 年 10 月に設立、平成 5 年 10 月に労働省（現厚生労働省）の認可を受けて財団法人となり、平成 25 年 4 月 1 日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、国際婦人年の目標である「平等・開発・平和」の達成のため、様々な活動を展開してきた。

平成 28 年度は、世界で取り組むべき「持続可能な開発目標（SDGs）の実現」をメインテーマとした「第 27 回アジア女性会議—北九州」を開催するとともに、男女共同参画や地域づくりの視点から、東日本大震災で被災地の方が経験したことを学び、防災について考える「KFAW 仙台スタディツアー 2016」を実施したほか、国連の防災に関する専門家や国内外の被災地で復興の最前線で活躍されている方を招へいして、「女性と災害」をテーマとしたワールドリポートセミナーを開催した。

## 1 調査・研究事業

KFAW 研究員及び客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を発信した。また、KFAW アジア研究者ネットワーク活動による調査研究活動を充実させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などによって、女性の地位向上や男女共同参画社会づくりに貢献した。

### （1）研究員研究

「公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム実施計画」及び「第 3 次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえ、次のとおり研究を行った。

#### ア 主席研究員研究

##### （ア）研究テーマ

「地域社会における女性団体の活動と男女共同参画社会の推進について」

##### （イ）研究の概要

女性団体の地域活動を促進し、男女共同参画社会の形成に資するために、市内外やインドネシアの女性団体について活動の実態を調査し、課題や今後の展望などを分析した。

#### イ 研究誌の刊行

KFAW 研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『第 1 回 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書』を刊行した。

- ・ 『アジア女性研究』第 26 号 500 部

- ・『第1回 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書』 400部

## ウ 研究報告会の開催

KFAW 研究員による報告会及び第28回 KFAW 研究報告会を開催して、研究成果を市民に発信した。

### (ア) KFAW 研究員報告「北九州・戸畑の発展と婦人会の公害反対運動の歴史」

(平成28年度第1回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナーと同時開催)

- ① 日時 平成28年4月17日(日) 13:00～15:30
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 報告内容、報告者
  - (a) 「戸畑婦人会の公害反対運動の歴史」  
神崎智子 (KFAW 主席研究員)  
企業や行政を動かし、公害克服を進める牽引力となった戸畑婦人会の公害反対運動について、女性団体の視点からの研究成果を報告
  - (b) 「戸畑発電所の果たした歴史的役割と降灰問題」  
加島篤 (北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科教授)  
「戸畑婦人会の公害反対運動の歴史」の報告に関連して、企業・技術者の視点からの分析結果を報告
- ④ 参加者 54名

### (イ) 第28回 KFAW 研究報告会

- ① 日時 平成29年3月28日(火) 13:00～15:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 報告内容、報告者
  - (a) 「韓国、日本及びフィリピンの男女平等度～ジェンダー格差指数からみた一考察～」  
堀内光子 (KFAW 理事長)
  - (b) 「インドネシア西ジャワ州の村落における婦人会活動と女性の生活」  
神崎智子 (KFAW 主席研究員)
- ④ 参加者 29名

## (2) 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業を強化するため、客員研究員への委託による調査研究を実施した。平成28年度は2組の客員研究員を選考し、調査研究を実施した(調査期間：平成28年度～29年度)。

### ア H28/H29年度 KFAW客員研究員と研究テーマ

#### (ア) 「アジアにおける性的マイノリティーの人権と市民社会：シンガポール、台湾、日本の比較研究を中心に」

北九州市立大学法学部教授 田村慶子

鹿児島県立短期大学准教授 疋田京子

- (イ) 「日本における外国人ケア労働者の受入れと育成をめぐる現状と課題：ジェンダーの視点からの分析」

佐賀女子短期大学特別研究員 鹿毛理恵

佐賀女子短期大学准教授 前山由香里

### (3) KFAW アジア研究者ネットワーク活動

#### ア アジア研究者によるセミナーの開催

北九州市及び近郊に在住する様々な分野の研究者や実務者が、アジア地域を中心とする活動の成果を共有するため、ジェンダーの視点から議論する市民向けのセミナーを開催するとともに KFAW アジア研究者ネットワークの拡充を図った。

- (ア) 平成 28 年度第 1 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー【再掲】

(北九州・戸畑の発展と婦人会の公害反対運動の歴史)

- ① テーマ 「戸畑婦人会の公害反対運動の歴史」  
「戸畑発電所の果たした歴史的役割と降灰問題」
- ② 日時 平成 28 年 4 月 17 日（日）13:00～15:30
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 神崎智子（KFAW 主席研究員）  
加島篤（北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科教授）
- ⑤ 参加者 54 名

- (イ) 平成 28 年度第 2 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「イランの婚活～イランにおける社会変化と結婚事情～」
- ② 日時 平成 28 年 5 月 29 日（日）10:00～12:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 森田豊子（鹿児島大学グローバルセンター特任准教授）
- ⑤ 参加者 30 名
- ⑥ 内容 イランの女性たちの生活、結婚など、イスラム世界における女性の多様なあり方

- (ウ) 平成 28 年度第 3 回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「高齢化するアジアの未来～『高齢者』・『女性』という人財～」
- ② 日時 平成 28 年 9 月 21 日（水）13:00～15:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 小川全夫（福岡アジア都市研究所特別研究員）
- ⑤ 参加者 31 名
- ⑥ 内容 男女共同参画の視点から見た、高齢者の地域活性化への貢献や高齢化社会における新しいビジネスモデルの構築、日本版 CCRC の可能性など

(エ) 平成28年度第4回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「家族の絆って何？～日本とインドネシアを比較して考える～」
- ② 日時 平成28年10月23日（日）10:00～12:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 疋田京子（鹿児島県立短期大学准教授）
- ⑤ 参加者 22名
- ⑥ 内容 同一宗教者間の婚姻が原則とされているインドネシアの家族観や、2015年12月の日本の夫婦同姓の合憲判決、家族法に関する日本とインドネシアの憲法訴訟の比較

(オ) 平成28年度第5回 KFAW アジア研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「日本より進んでいる？中国の子育てとイクメン～北京在住ジャーナリストが見る中国社会～」
- ② 日時 平成29年1月24日（水）13:30～15:30
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 斎藤淳子（北京在住ライター）
- ⑤ 参加者 34名
- ⑥ 内容 中国の子育てや女性の社会進出状況など、報道では知ることができない実際の中国の人々の生活

(カ) WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング

「活躍する女性と高齢化する社会」をテーマに福岡市で開催された第1回 WWAS (Working Women in an Ageing Society) 国際会議のフォローアップ会議として、樋口恵子氏による基調講演や WWAS 国際会議の報告などを行った。

- ① テーマ 「高齢化する社会と地域における女性の活躍」
- ② 日時 平成28年7月8日（金）13:30～16:30
- ③ 場所 北九州市男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム
- ④ 内容
  - (a) 基調講演 樋口恵子（NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長）
  - (b) 第1回 WWAS 国際会議報告 松田美幸（WWAS2016 国際会議運営委員会副委員長・福岡県男女共同参画センターあすばる館長）

(c) パネル・ディスカッション

<パネリスト>

樋口恵子

大庭千賀子（北九州市企画調整局地方創生推進室特区担当部長）

関宣昭（NPO 法人里山を考える会代表）

Stephanie A. Weston（福岡大学法学部教授）

<モデレーター>

松田美幸

- ⑤ 参加者 160名

## イ キャリア形成のためのプログラム開発

KFAW アジア研究者ネットワークを活用して、高校生のためのキャリア形成プログラムや製造業における女性活躍推進プログラムの開発を行った。

### (ア) 高校生のキャリア形成のためのプログラム開発

高校生のキャリア形成のためのプログラムを開発し、プログラムを活用した講義と若手社会人によるトークセッションを市内の高校で実施した。また、ひとみらいプレイスと共同で高校生のキャリア形成セミナーを開催した。

#### ① 自由ヶ丘高校での講義及び若手社会人によるトークセッション

- (a) 日時 平成 28 年 9 月 17 日 (土) 8:55~10:45
- (b) 場所 自由ヶ丘高等学校
- (c) 講師 松本幸一 (九州国際大学准教授)  
山脇直祐 (九州共立大学等講師)
- (d) 社会人パネリスト 橋本百世、矢津田大翔、渡邊菜
- (e) 参加者 3 年生 200 名

#### ② 高校生キャリア形成セミナー (ひとみらいプレイスとの共同実施)

- (a) 日時 平成 28 年 11 月 12 日 (土) 17:45~20:00
- (b) 場所 八幡西生涯学習総合センター
- (c) 講師 講義及びワークショップ: 眞鍋和博 (北九州市立大学教授)  
トークライブ: 金廣邦高 (キタキュウマンプロジェクト代表)  
笠井美穂 (NHK「ニュースブリッジ北九州」キャスター)
- (d) 参加者 高校生 48 名 (公募)

### (イ) 製造業における女性活躍推進プログラム開発

製造業における女性活躍を推進するため、企業向けと就職を希望する女性を対象にしたプログラムをそれぞれ開発し、講座を試験的に実施した。

#### ① 企業向け講座用プログラム

企業の経営者や人事担当者を対象に、女性活躍の必要性とメリットの例示、製造業における具体的な成功事例の紹介、企業が取り組むべき方策の紹介等を行うプログラムを開発し、プログラムを使用した講義を行った。

<企業向け講座の実施>

- (a) 日時 平成 29 年 2 月 27 日 (月) 16:00~17:30
- (b) 場所 北九州市役所会議室
- (c) 講師 吉村英俊 (北九州市立大学教授)
- (d) 参加者 企業の総務・人事担当者 8 名 (いちい会所属)

#### ② 就職を希望する女性を対象にしたプログラム

就職を希望する女性を対象に、製造業での就労のメリットの紹介、女性の活躍事例紹介等を行うプログラムを開発し、ムーブが主催する「就職支援講座 (2 日間)」において講義及び工場見学を行った。

## 2 交流・研修事業

世界で取り組むべき目標である「持続可能な開発目標（SDGs）の実現」をメインテーマとした「第27回アジア女性会議―北九州」やワールドリポートセミナー、在日海外領事館の領事によるセミナーなどを開催した。

### (1) 「アジア女性会議―北九州」等の国際セミナーの開催

#### ア アジア女性会議―北九州

「誰一人取り残さない」世界の実現～SDGs（持続可能な開発目標）の達成のために何ができるか」と題し、基調講演として国連女子差別撤廃委員会委員長の林陽子氏が講演した。また、パネルディスカッションでは、アジアを含めたグローバルな視点と身近な北九州市の視点から、SDGsの目標達成に向けた発表や意見交換を行った。

#### (ア) 国際シンポジウム『第27回アジア女性会議―北九州』の開催

- ① 日時 平成28年11月26日（土）13:00～16:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 参加者 173名
- ④ 基調講演 林陽子氏（弁護士、国連女子差別撤廃委員会委員長）
- ⑤ パネルディスカッション

<パネリスト>

林陽子（弁護士、国連女子差別撤廃委員会委員長）

北郷恭子（外務省総合外交政策局女性参画推進室長）

宮負こう（国連開発計画（UNDP）アジア太平洋地域 ジェンダーアドバイザー）

中村知英（北九州市子ども家庭局子ども総合センター主査）

<コーディネーター>

堀内光子（KFAW 理事長）

- ⑥ 報告書の作成

『第27回アジア女性会議―北九州 報告書』

#### イ 国際理解促進事業

国連の防災に関する専門家や国内外の被災地で復興の最前線で活躍されている方を招へいして、ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催した。また、国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ」などのセミナーを開催した。

#### (ア) 国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ 8 在福岡ベトナム総領事が語る！ベトナムの今、そして女性の役割」

- ① 日時 平成28年8月4日（木）15:30～17:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 講師 グェン・フォン・ホン（在福岡ベトナム総領事館 総領事）
- ④ 参加者 56名

(イ) 国際理解セミナー「KFAW 領事館シリーズ9 アメリカにおける女性の社会進出」

- ① 日時 平成 29 年 1 月 25 日 (金) 14:00～15:30
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ 講師 バネッサ・善治 (在福岡米国領事館広報担当領事)
- ④ 参加者 70 名

(ウ) ワールドリポートセミナー「女性と災害」

- ① 日時 平成 29 年 2 月 25 日 (土) 13:30～16:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ③ パネリスト 松岡由季 (国連国際防災戦略事務局 UNISDR 駐日事務所代表)  
ヴィオレタ・セヴァ (弁護士、フィリピン・マカティ市顧問)  
吉村静代 (益城だいすきプロジェクト・きままに代表)  
渡邊とみ子 ((特非) かーちゃんのカプロジェクトふくしま理事)
- ④ コーディネーター 堀内光子 (KFAW 理事長)
- ⑤ 参加者 107 名

(エ) 第 60 回国連女性の地位委員会 (CSW60) 帰国報告会

- ① テーマ CSW60 について  
＜優先テーマ＞  
「女性のエンパワーメントと持続可能な開発 (SDG s) とのリンク (関連性)」  
＜レビューテーマ＞  
「女性及び女兒に対するあらゆる形態の暴力の撤廃及び防止」 (CSW57 回合意結論)
- ② 日時 平成 28 年 5 月 19 日 (木) 18:30～20:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- ④ 講師 堀内光子 (KFAW 理事長)  
村嶋祐佳 (BPW・CSW60 インターン派遣生)
- ⑤ 参加者 35 名

## (2) 海外拠点ネットワークの形成

海外のジェンダー関連組織に共通する課題解決や女性の地位向上、恒常的な海外ネットワークの形成を目指し、2013 年から交流を続けるベトナム・ハノイ女性連盟と共同企画で「ハノイスタディーツアー2016」を開催し、ハノイ女性連盟との交流や、男女共同参画の視点からベトナム人の家族や生活を視察した。

### ア 事前勉強会

- (ア) 日時 平成 28 年 8 月 3 日 (水) 10:00～12:00
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 ベトナムについて  
スタディーツアーの概要説明と安全管理/注意事項など
- (エ) 講師 秋葉亜子 (東京外国語大学講師、ベトナム語通訳)
- (オ) 参加者 15 名 (スタディーツアー参加予定者)

## イ ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー2016」

- (ア) 日時 平成28年9月6日(火)～10日(土)
- (イ) 場所 ベトナム・ハノイ
- (ウ) 内容 ハノイ女性連盟との情報交換、ベトナムの歴史や暮らしの視察
- (エ) 参加者 11名

## ウ 帰国報告会

- (ア) 日時 平成28年10月11日(火) 13:30～15:30
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 ツアーで学んだことの報告
- (エ) 参加者 27名

## (3) 海外派遣

平成29年3月にニューヨークで開催された第61回国連女性の地位委員会(CSW61)へ参加するための登録の機会をフォーラム賛助会員に提供した(派遣人数9名)。

## (4) スタディツアー

地域づくりや防災に取り組んでいる市民や行政関係者等15名で仙台市を訪問し、男女共同参画の視点から被災地の蓄積された経験と知識を学ぶ「KFAW 仙台スタディツアー2016～東日本大震災から学ぶ男女が共に取り組む地域防災」を実施した。

### ア 事前勉強会

- (ア) 日時 平成28年11月16日(水) 10:30～15:50
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 仙台市の防災と復興における男女共同参画  
北九州市の地域防災計画について  
スタディツアー・グループワーク
- (エ) 講師 齋藤邦彦((公財)せんだい男女共同参画財団 専務理事・事務局長)  
梅木久夫(北九州市危機管理室 防災企画係長)  
西村健司((一財)コミュニティシンクタンク北九州 理事/事業統括)
- (オ) 参加者 25名

### イ スタディツアー

- (ア) 期間 平成28年12月14日(水)～12月16日(金)
- (イ) 場所 仙台市
- (ウ) 内容 ① 各地域における被災時・防災の取り組みについて  
② 地域での防災・災害時の活動における男女共同参画の視点について  
③ 企業や行政の取り組みについて
- (エ) 参加者 15名



## ウ 事後勉強会

- (ア) 日時 ① 平成 29 年 1 月 12 日 (木) 10:00~12:00  
② 平成 29 年 2 月 27 日 (月) 10:00~12:00
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 「スタディツアーで学んだことを生かすために」
- (エ) 講師 西村健司((一財)コミュニティシンクタンク北九州 理事/事業統括)
- (オ) 参加者 ① 12 名 ② 15 名

## エ 報告会

- (ア) 日時 平成 29 年 3 月 15 日 (水) 13:30~15:00
- (イ) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
- (ウ) 内容 仙台スタディツアー報告  
参加者によるパネルディスカッション
- (エ) 報告者 ツアー参加者 9 名
- (オ) 参加者 47 名

オ 報告書の作成 1,500 部

## 3 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、女性に関する情報やフォーラムの活動についての情報の収集や発信を行った。

### (1) 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』(日本語・英語版)を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『アニュアルレポート 2015』を発行した。

#### ア 情報誌『Asian Breeze』の発行

- (ア) 発行部数 日本語版 4,000 部、英語版 2,400 部
- (イ) 発行回数・時期 第 77 号 平成 28 年 6 月  
第 78 号 平成 28 年 11 月  
第 79 号 平成 29 年 3 月
- (ウ) 送付先 市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など

#### イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート 2015』を発行した。

- (ア) 発行部数 日本語版 400 部、英語版 50 部

(イ) 発行時期 平成 28 年 8 月（日本語版）、10 月（英語版）

ウ ホームページ、Facebook アクセス件数 260,433 件

## (2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をレポートした。通信員から提出されたレポートは、『Asian Breeze』やホームページ、Facebook などに掲載した。

ア 人数 6 カ国 7 名（バングラデシュ、香港、インド、インドネシア、ネパール、スリランカ）

イ 任期 平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月

ウ レポート回数 3 回

## 4 国際研修事業

### JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2016

開発途上国における女性のエンパワーメントや男女共同参画社会の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成していくため、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2016」を実施した（独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA 九州）からの受託事業）。

#### ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2016 (A) >

(ア) 期間 平成 28 年 6 月 6 日(月)～7 月 4 日(月)

(イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター 他

(ウ) 研修員 8 カ国 9 名（ブータン、エルサルバドル、インド、ケニア、パレスチナ、東ティモール、パプアニューギニア、セルビア）

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2016 (B) >

(ア) 期間 平成 29 年 1 月 11 日(水)～2 月 10 日(金)

(イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター 他

(ウ) 研修員 9 カ国 9 名（アフガニスタン、アルバニア、カンボジア、エジプト、フィジー、ナイジェリア、パキスタン、パナマ、パプアニューギニア）

#### イ 市民交流会の開催

研修員と市民との市民交流会を開催した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2016 (A) >

JICA 九州で実施されている「クロスロード・コミュニケーション」の「異文化理解セミナー」において市民交流会を実施した。

- (ア) 日時 平成 28 年 6 月 13 日 (土) 17:30～18:30  
(イ) 場所 独立行政法人国際協力機構九州国際センター  
(ウ) 参加者 91 名

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2016 (B) >

西南女学院大学との共同企画で学生との交流会を実施した。

- (ア) 日時 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 13:30～16:10  
(イ) 場所 西南女学院大学  
(ウ) 参加者 19 名

# 《公益目的事業Ⅱ：男女共同参画に関する事業を通して男女共同参画社会の形成を推進する事業》

## 【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 23 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を指定管理者として行っている。さらに、平成 28 年度から引き続き、平成 32 年度まで新たに 5 年間の指定管理の指定を受けている。平成 28 年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設 3 館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。

## 1 指定管理事業

### (1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、「ムーブフェスタ 2016」の開催、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施した。

#### ア 男女共同参画等事業（23 事業、参加延人数 8,058 名）

##### (ア) ジェンダー問題講座（5 事業、参加延人数 2,829 名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

##### ① 男女共同参画講座

###### (a) 「古美術の世界に魅せられて～女性鑑定士として生きる道～」

講師：安河内眞美（古美術商）

###### (b) ムーブ・レディス映画祭～あなたは大切なひとに何を残したいですか～

映画『はなちゃんのみそ汁』上映会&アフタートーク

講師：樋口智巳（小倉昭和館館主）

##### ② おとこのライフセミナー

「様々なおとこの人生を生きてみて～ダンディとは・・・～」

講師：光石研（俳優）

##### ③ キャリア形成プログラム

###### (a) 西日本工業大学

実施回数：1回

講師：神崎智子（KFAW 主席研究員）

(b) 西南女学院大学

実施回数：2回

講師：湯浅壘道（情報セキュリティ大学院大学学長補佐）

大島まな（九州女子大学人間科学部長）

(c) 北九州市立大学

実施回数：1回

講師：西本祥子（北九州市立男女共同参画センター所長）

城水裕美子（北九州市市民文化スポーツ局文化部文化企画課主査）

坂井優太（北九州市産業経済局新成長戦略推進部商業・サービス産業政策課）

(d) 九州女子大学

実施回数：1回

講師：山脇直祐（九州共立大学等講師）

(e) 九州共立大学

実施回数：2回

講師：大島まな（九州女子大学人間科学部長）

山脇直祐（九州共立大学等講師）

(f) 九州国際大学

実施回数：2回

講師：山脇直祐（九州共立大学等講師） ほか

(イ) 就業支援講座（12事業、参加延人数 4,335名）

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拓げるための再就職、起業等に関する講座を開催した。

- ① 働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座（次世代リーダー養成講座）、フォローアップセミナー、ムーブカフェ
- ② 「私の事業」スタート講座～女性起業家支援塾 2016～、フォローアップセミナー
- ③ 働くなでしこに贈る！お役立ちワンポイントセミナー
- ④ 夫婦で考えるハッピー仕事×子育て術
- ⑤ 女性のための就職応援講座～ものづくりの街・北九州でやりがいのある仕事を求めて～
- ⑥ 資格取得講座（調剤事務講座、医療事務講座など）
- ⑦ パソコン講座 ほか

(ウ) 生活技術講座（6事業、参加延人数 894名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

- ① 男性向け講座（エプロン男子、ケアメン教室、おとこの魅力アップシリーズ（片付け男子、緑茶男子、裁縫男子等））
- ② いまどきママのリフレッシュ講座 ほか

## イ 市民活動支援・連携事業（6事業、参加延人数 601名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

- (ア) ムーブ学生活動プロジェクト（まなびとESDステーション ガーベラプロジェクト）
- (イ) ムーブサポーター事業
- (ウ) プログラミング体験教室（共催事業）                                   ほか

## ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（5事業、参加延人数 9,747名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体を健康に家庭や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- (ア) 健康講座「心も身体もリフレッシュ！！シェイプアップヨガ」
- (イ) ムーブ・レディス連携事業「女性ホルモンとメンタルヘルスについて」
- (ウ) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座（出前講座）
- (エ) フィットネスルームの個人利用   ほか

## エ ムーブフェスタ 2016

全体のテーマが「かがやく」、キャッチコピーは「かがやく世界へ扉をひらく」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間	平成 28 年 7 月 2 日(土)～23 日(土)
参加延人数	56,588 人

### (ア) 主催事業（4 事業）

- ① オープニングイベント 講演会  
「あさが来た！～一人ひとりが輝く朝を迎えるために～」  
講師：大森美香（脚本家）
- ② イベントステージ  
うえやまとちさんトークショー&おにぎらずレシピコンテスト表彰式  
講師：うえやまとち（漫画家）
- ③ 行列のできる！？法律相談Q&A
- ④ 第 19 回ジェンダー問題調査・研究報告会                                   ほか

### (イ) 市民企画事業

- ① 総事業数                                 116 事業  
(イベント 71 事業、サマーカーニバル 13 事業、フリーマーケット 32 事業)
- ② 参加延人数                             21,929 人

## オ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害等について、相談員がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、弁護士による女性の人権に関する相談や法律基礎講座、相談に携わる方々を対象により質の高い支援を目指した対人援助職者セミナーなどを開催した。

また、KFAW で養成したデート DV 予防教育ファシリテーターのフォローアップをムーブで実施し、相談業務の実績を踏まえたデート DV 防止の指導者の育成に取り組んだ。

### (ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・働く女性の心とキャリア、元気アップ相談・男性のための電話相談・弁護士による無料法律相談

区 分	電話相談件数	面接相談件数	合 計	
一般相談	3,143 件(3,684 件)	338 件 (344 件)	3,481 件(4,028 件)	4,127 件 (4,717 件)
人権侵害相談	257 件(312 件)	10 件(7 件)	267 件(319 件)	
働く女性の心とキャリア、元気アップ相談	51 件(111 件)	149 件(101 件)	200 件(212 件)	
男性電話相談	31 件(18 件)	—	31 件(18 件)	
法律相談	—	148 件(140 件)	148 件(140 件)	

### (イ) 講座 (5 講座、参加延人数 224 名)

#### ① 女性のための法律基礎講座

#### ② 男性のための法律基礎講座

#### ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座

「ストーカーは何を考えているか？」

講師：小早川明子 (NPO ヒューマニティ理事長)

#### ④ 単発講座

「私がわたしのベストフレンド！～心地よく生きるためのフォーカシング入門～」

講師：黒瀬まり子 (臨床心理士)

#### ⑤ (a) DV 防止講演会

「DV 被害者支援の活動から～被害からの回復、自立への道のり～」

講師：やはたえつこ (NPO 法人ハーティ仙台代表理事)

#### (b) デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座

「デート DV 防止活動の現状分析と課題の明確化を図る」

ファシリテーター：やはたえつこ (NPO 法人ハーティ仙台代表理事)

### (ウ) 対人援助職者セミナー (参加人数 133 名)

医療、福祉、教育などの対人援助職者を対象に、相談対応や知識の向上を図り、関係機関とのネットワークを深めることを目的に開催した。

「感情労働としての対人援助職ー共感がストレスになるときー」

講師：武井麻子 (日本赤十字看護大学名誉教授)

### (エ) ホットライン (相談件 32 件)

女性の人権に関する相談に弁護士などが直接電話で応じた。

- ① 女性への人権侵害相談ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ② 女性への暴力ゼロ！ホットライン【内閣府「女性への暴力ゼロ運動」事業】

(オ) グループ相談（参加延人数 21 名）

- ① 働く女性のためのグループ相談～明日こそ笑顔で出勤しよう～
- ② I l i k e Me! ～自分を好きになるためのグループプログラム～

(カ) 自助グループへの支援（支援グループ数 4、参加延人数 111 名）

会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等の支援を行った。

(キ) その他啓発（2 事業）

- ① パネル展示「ワリかん！？ワリとかんたん！？男と女のいい関係」
- ② パネル展示「デート DV について知ろう！」

## カ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

図書 54,519 冊、雑誌 76 種類、DVD 102 本、ビデオ 212 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書やDVD等の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況 貸出冊数 39,034 冊、貸出者数 15,425 人

(b) 親子を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせをする「お話し会」 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数 78 件（平成 29 年 3 月 31 日現在）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・ホームページ、Facebook アクセス件数 263,947 件



(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 350人（平成29年3月31日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題調査・研究支援事業

(a) 平成28年度ジェンダー問題調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者グループ等を支援するために、その調査費の一部（上限30万円）を助成。今年度は、2事業を支援し、研究結果については、平成29年3月に報告書を発行した。

① テーマ 「シェアハウスにおける新しい人間関係の形成－ひとり親家庭を中心に－」

研究者 翁文静（九州大学人間環境学府博士）

② テーマ 「杉田久女－言語行為としてのジェンダー研究」

研究者 荻原桂子（九州女子大学人間科学部教授）

(b) 第19回ジェンダー問題調査・研究報告会（ムーブフェスタで実施）

テーマ 「海運業界における男女共同参画推進のための研究」

発表者 石田依子（(独)国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校教授）

コメンテーター 南部真知子（(株)神戸クルーザー・コンチェルト会長）

② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行事業

(a) ムーブ叢書 冊子『知らないって怖い！職場のハラスメント』

平成18年度に発行した『職場におけるセクシュアルハラスメント防止研修』冊子を改定するとともに、新たにパワーハラスメントとマタニティハラスメントを追加し、働く人、事業主だけでなく、誰もが読めばハラスメントを理解できるように簡潔にまとめた冊子を発行した。

・発行部数 1,000部

・体裁等 A4版（無料）

(b) 「北九州市の男女共同参画統計データ」新規項目データを作成し、ホームページに掲載した。

・データ数 11件

③ 男女共同参画に関する啓発事業（参加人数50名）

(a) トークイベント&ワールドカフェ「わたし活性化計画－異なる視点が変革の鍵」

トーク講師 大塚祐子（(株)ボーダレス・ジャパンマーケティング本部ブランド統括マネージャー）

古賀雅美（福岡日産自動車(株)堤店店長）

佐藤由美子（日本航空(株)北九州空港所所長）

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

- (a) 発行日           79号 平成28年6月10日  
                      80号 平成28年10月1日  
                      81号 平成29年2月28日
- (b) 発行部数       各号7,000部

② 書誌情報誌『カテイング・エッジ』の発行

- (a) 発行日           57号 平成28年6月10日  
                      58号 平成28年10月1日  
                      59号 平成29年2月28日
- (b) 発行部数       各号3,000部

**キ 施設管理業務**

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）  
・平成28年度貸室利用人数 106,210人 《参考：主催事業参加延人数 110,991人》

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。  
・視察件数 9件（うち海外0件）、延人数120人（うち海外0人）

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、セクシュアル・ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。  
・派遣件数 16件、延人数1,905人  
（うち14件1,842人 再掲 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座）

**(2) 勤労婦人センター管理運営業務**

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

**【レディスもじ】**

**ア 男女共同参画等事業（17事業、参加延人数1,348名）**

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・ balan

ス、DV・セクハラ防止、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

(ア) ジェンダー問題講座 (14 事業、参加延人数 1,262 名)

- ① ムーブ・レディス映画祭「あん」
- ② 男女共同参画講演会「お互いの立場をこえて出会うには」
- ③ ジェンダーワークショップ「おしゃべり C A F E ～絵本で気づくジェンダー～」
- ④ セルフ・ディフェンス講座「ココロとカラダを守る防護術」
- ⑤ 女性学講座「男女共同参画の視点から読み解く 宮沢賢治の世界」
- ⑥ はじめての哲学「ギリシャ哲学への案内」 ほか

(イ) DV・セクハラ防止啓発事業 (1 事業、参加延人数 32 名)

- ① デートDV防止教室「お互いを尊重し合う関係を築こう」(出前講座)  
対象：啓知高等学校 3 年生

(ウ) ワーク・ライフ・バランス推進講座 (1 事業、参加人数 45 名)

- ① 「ワーク・ライフ・バランスについて」

(エ) 男性セミナー (1 講座、参加人数 9 名)

- ① 「裁縫男子」

**イ 就業支援講座 (46 事業、参加延人数 4,794 名)**

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

(ア) 起業家支援 (3 事業、参加延人数 213 人)

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を行う。

- ① ネットショップ開設入門講座
- ② カフェの作り方講座 ほか

(イ) キャリアアップ講座 (7 事業、参加延人数 706 名)

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。

- ① 行政書士入門講座
- ② 司法書士入門講座
- ③ 給与計算・社会保険事務講座
- ④ 魅力がアップする話し方 基礎講座
- ⑤ TOEIC 検定講座 ほか

(ウ) 再就職支援事業 (4 事業、参加延人数 34 名)

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

- ① 就職活動セミナー 3 事業

② 再就職支援セミナー「就職に役立つより良い家族関係と生活設計」 1 事業

(エ) パソコン講座 (25 事業、参加延人数 2,572 名)

- ① ワード・エクセル基礎・応用講座
- ② J w - c a d 講座
- ③ ワード 2 級検定講座
- ④ エクセル 1 級・2 級・3 級検定講座
- ⑤ 使える！働く人のための「関数編」・「マクロ&V B A 編」 ほか

(カ) 資格取得講座 (7 事業、参加延人数 1,269 名)

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 日商簿記 3 級検定講座
- ② 色彩 2 級検定講座
- ③ 行政書士試験対策講座
- ④ ファイナンシャル・プランニング技能検定 2 級・3 級講座
- ⑤ 調理師受験準備講座

ウ 生活技術講座 (13 事業、参加延人数 675 名)

(ア) 子育て支援事業 (6 事業、参加延人数 298 名)

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 親子ワクワク教室 (前期・後期)
- ② ベビーマッサージ
- ③ 人形ボードヴィル ～笑顔の宅配便～
- ④ 父と子のホワイトデーの菓子づくり ほか

(イ) 生活技術講座 (7 事業、参加延人数 377 名)

家族の健康、家庭生活 (料理)、英会話などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充実に目的とした講座を開催した。

- ① 英会話
- ② 季節の寄せ植え ほか

エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (6 事業、参加延人数 458 名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- ① リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (出前講座)  
「性感染症について」 対象：啓知高等学校 2 年生
- ② ストレスケア ～こころの手当て～
- ③ 3 館連携リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座「お口の元気度アップと骨盤体操」 ほか

**オ 市民活動支援・連携事業（14 事業、参加延人数 2,011 名）**

（ア） 市民企画事業（6 事業、参加延人数 452 名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

- ① 「女と男の落語寄席」
- ② 「ゴスペルコンサート」 ほか

（イ） 友の会育成事業（5 事業、参加延人数 688 名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図った。

- ① 開館 29 周年記念 第 29 回フェスティバル
- ② わっしょい百万夏まつり 百万踊り参加 ほか

（ウ） 国際交流事業（1 事業、参加人数 78 名）

外国の音楽を通して、文化や楽器に触れ、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 「馬頭琴コンサート」

（エ） 託児ボランティア・図書ボランティア（3 事業、参加延人数 793 名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多くの情報を提供した。

- ① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」
- ② 図書ボランティア「リブロ」 ほか

**カ 開館記念講演会（1 事業、参加人数 220 名）**

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

（ア） 開館 29 周年記念講演会「二度と来ない、この瞬間を楽しもう！」

講師：セイン カミュ（タレント）

**キ 相談事業（2 事業、相談延人数 25 名）**

- （ア） 女性のための相談室
- （イ） 女性のための無料法律相談

**ク 情報提供事業（1 事業）**

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て、図書の貸出し事業を行っている。

- ・ 貸出冊数 1,516 冊

## 【レディスやはた】

### ア 男女共同参画等事業（12事業、参加延人数 587名）

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、ライフインベントリー、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

#### (ア) ジェンダー問題講座（7事業、参加延人数 385名）

- ① ムーブ・レディス映画祭「愛を積むひと」
- ② ジェンダーワークショップ「わたらしい生き方」「世界の家事分担事情」
- ③ 自分と向き合うストレスケア法

#### (イ) ワーク・ライフ・バランス推進講座（2事業、参加延人数 26名）

- ① ワーク・ライフ・バランス推進セミナー「女性の自立とワーク・ライフ・バランス」
- ② ライフインベントリーセミナー「Let's 人生の棚おろし」 ほか

#### (ウ) 男性セミナー（2事業、参加延人数 116名）

- ① 男性料理教室 初級・中級

#### (エ) メディアリテラシー講演会（1事業、参加人数 60名）

- ① 「北九州・映画ロケによるまちづくり～輝く女性達～」

### イ 就業支援講座（37事業、参加延人数 5,004名）

女性の経済的自立へのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

#### (ア) 起業家支援講座（6事業、参加延人数 662名）

起業に際して必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、女性の起業に向けた支援を実施した。

- ① リンパドレナージ養成講座 初級・中級
- ② ハンドメイド作家養成講座 入門・活用編
- ③ 魅力がアップする話し方講座 入門・活用編

#### (イ) キャリアアップ事業（3事業、参加延人数 767名）

働く女性の就業能力向上を目的として、英語の能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

- ① TOEIC検定講座
- ② 英語実力培訓講座
- ③ 社会保険労務士入門講座

#### (ウ) 就業継続支援事業（2事業、参加延人数 204名）

- ① 経済学講座「金融知識と活用力をパワーアップ」
- ② 美文字～くせ字よさよなら～

(エ) 再就職支援事業（4事業、参加延人数 31名）

福岡県子育て女性就職支援センターやマザーズハローワーク北九州との連携事業として開講した。

- ① 就職活動セミナー

(オ) パソコン講座（15事業、参加延人数 1,549名）

- ① ワード・エクセル基礎・応用講座
- ② パワーポイント初級・中級講座
- ③ はじめての方のパソコン入門
- ④ エクセル活用術・関数編
- ⑤ ワード3級検定講座
- ⑥ エクセル2級検定講座

(カ) 資格取得講座（7事業、参加延人数 1,791名）

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 社会保険労務士試験対策講座
- ② 宅地建物取引士試験対策講座
- ③ ファイナンシャル・プランニング技能検定3級講座
- ④ 日商簿記2級・3級検定講座
- ⑤ 相続アドバイザー3級検定講座
- ⑥ 年金アドバイザー3級検定講座

**ウ 生活技術講座（12事業、参加延人数 759名）**

(ア) 子育て支援事業（5事業、参加延人数 421名）

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① わらべの日事業「親子でパン教室」
- ② 父と子のふれあいクッキング「パパと仲良しピザづくり」
- ③ 親子で作ろう！「プラ板でネームキーホルダー」
- ④ 親子料理教室「パティシエに習うバレンタインスイーツ」

(イ) 生活技術事業（6事業、参加延人数 338名）

食や英会話、趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。

- ① シェフの季節の料理教室 夏料理、和食
- ② 焼きたてパンでナイト・ブランチ
- ③ 今さら聞けない！料理のきほん ほか

**エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（12事業、参加延人数 1,471名）**

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) 健康講座

- ① 骨盤調整ピラティス講座
- ② リンパセルフ講座
- ③ バランスボール講座
- ④ フラダンス講座
- ⑤ 3館連携事業「これって更年期？よりよい更年期を迎えるため」 ほか

オ 市民活動支援・連携事業（13事業、参加延人数 6,665名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 市民企画事業（5事業、参加延人数 398名）

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

- ① 北九州ランチャーズライブ～懐かしいクリスマスサウンド～
- ② 落語と紙切り
- ③ プロが奏でる新春ギターコンサート
- ④ 狂言「柿山伏」 ほか

(イ) 友の会育成事業（2事業、参加延人数 5,365名）

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

- ① レディスやはたフェスティバル
- ② 利用者の会バスハイク「北九州再発見の旅」

(ウ) 国際交流事業（2事業、参加延人数 137名）

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 狂言「棒しばり」
- ② JICA 研究員との国際交流「和食で国際交流」

(エ) 託児ボランティア（4事業、参加延人数 765名）

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

- ① 託児ボランティア「えくぼの会」
- ② 保育サポーター養成講座「子育て事情 今・昔」 ほか

カ 開館記念講演会（1事業、参加人数 159名）

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。



- (ア) 開館 39 周年記念講演会 「自分らしくたくましく生きる」  
講師：原千晶（女優）

**キ 相談事業（2 事業、相談延人数 38 名）**

- (ア) 女性のための相談室  
(イ) 女性のための無料法律相談

**ク 情報提供事業（3 事業）**

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。

- (ア) 男女共同参画啓発「お母さんが語る女子差別撤廃条約」パネル展示  
(イ) ひまわり文庫・雑誌貸出し 1,201 冊 ほか

**【勤労婦人センター管理業務】**

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

**ア 施設維持管理業務**

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修（消防訓練、AED 操作研修等）などの職員研修を実施した。

**イ 貸室業務**

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った。（原則有料）

平成 28 年度貸室利用人数 レディスもじ 86,859 人 レディスやはた 75,744 人

〈参考：主催事業参加延人数 レディスもじ 25,870 人 レディスやはた 32,232 人〉

## 2 自主事業

---

### (1) 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座（英会話）（再掲）
- イ 就業支援講座（医療事務講座、調剤事務講座、パソコン講座 等）（再掲）
- ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）（再掲）
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（シェイプアップヨガ 等）（再掲）

### (2) 勤労婦人センター自主事業

- ア 就業支援講座（資格取得講座、パソコン講座 等）（再掲）
- イ 生活技術講座（英会話 等）（再掲）
- ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業（骨盤体操講座 等）（再掲）

## 《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

### 【概況】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

## 《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的 以外の貸与事業》

### 【概況】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター(東部・西部)において指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

# 《法人事業》

## 【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行った。また、フォーラムサポーター活動の推進や賛助会員への加入を促進した。

### 1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を3回（うち1回はみなし決議）及び定時評議員会、臨時評議員会（みなし決議）を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告並びに役員の交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会 平成28年5月2日みなし決議

第2回理事会 平成28年6月1日開催

第3回理事会 平成29年3月6日開催

臨時評議員会 平成28年5月13日みなし決議

定時評議員会 平成28年6月20日開催

### 2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウィルスやハッキングなどを未然に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

### 3 フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員加入の促進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。また、多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に努めた。

【平成28年度実績】 会費収入 464,500円

区分	年額（1口）	加入人数	加入口数
個人	3,000円	77名	78口
団体	20,000円	11件	11口
学生	1,500円	7名	7口

## 事業報告の附属明細書

掲載する重要なものは、ありません。

# 貸借対照表

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	82,746,476	68,641,355	14,105,121
未収金	89,944	32,627	57,317
貯蔵品	2,331,144	3,228,489	▲ 897,345
仮払金	239,000	600,691	▲ 361,691
流動資産合計	85,406,564	72,503,162	12,903,402
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	6,382	6,382	0
投資有価証券	329,339,391	329,339,391	0
基本財産合計	329,345,773	329,345,773	0
(2) 特定資産			
特定資産合計			
(3) その他固定資産			
什器備品	807,110	936,890	▲ 129,780
電話加入権	490,000	490,000	0
出資金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	1,347,110	1,476,890	▲ 129,780
固定資産合計	330,692,883	330,822,663	▲ 129,780
資産合計	416,099,447	403,325,825	12,773,622
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	31,005,272	23,278,270	7,727,002
前受金	1,132,032	1,284,336	▲ 152,304
預り金	572,126	691,453	▲ 119,327
仮受金	40,306	307,202	▲ 266,896
流動負債合計	32,749,736	25,561,261	7,188,475
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	32,749,736	25,561,261	7,188,475
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
市補助金	300,000,000	300,000,000	0
寄付金	23,166,095	23,166,095	0
受贈投資有価証券	0	100,000	▲ 100,000
指定正味財産合計	323,166,095	323,266,095	▲ 100,000
(うち基本財産への充当額)	323,166,095	323,266,095	▲ 100,000
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	60,183,616	54,498,469	5,685,147
(うち特定資産への充当額)	6,179,678	6,079,678	100,000
正味財産合計	383,349,711	377,764,564	5,585,147
負債及び正味財産合計	416,099,447	403,325,825	12,773,622

# 正味財産増減計算書

法人全体

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,721	2,775,120	828,601
基本財産運用益計	3,603,721	2,775,120	828,601
受取会費			
賛助会員受取会費	464,500	530,000	▲ 65,500
受取会費計	464,500	530,000	▲ 65,500
事業収益			
書籍等販売収益	10,244	46,403	▲ 36,159
行事等参加料収益	171,076	30,086	140,990
事業収益計	181,320	76,489	104,831
指定管理施設自主事業費収益			
受講料収益	11,911,584	12,421,276	▲ 509,692
教材費収益	4,093,355	3,973,709	119,646
雑収益	239,164	325,520	▲ 86,356
指定管理施設自主事業収益計	16,244,103	16,720,505	▲ 476,402
委託料収益			
国際協力機構委託料収益	5,851,768	3,422,147	2,429,621
委託料収益計	5,851,768	3,422,147	2,429,621
北九州市委託料収益			
北九州市委託金収益	343,926,670	347,784,698	▲ 3,858,028
北九州市委託金収益計	343,926,670	347,784,698	▲ 3,858,028
受取補助金等			
受取市補助金	56,895,714	58,780,931	▲ 1,885,217
受取補助金等計	56,895,714	58,780,931	▲ 1,885,217
雑収益			
その他雑収益	369,643	407,051	▲ 37,408
雑収益計	369,643	407,051	▲ 37,408
経常収益計	427,537,439	430,496,941	▲ 2,959,502
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,338,600	4,338,600	0
給料手当	101,514,335	103,846,366	▲ 2,332,031
臨時雇賃金	680,323	59,820	620,503
福利厚生費	21,388,466	20,194,191	1,194,275
会議費	402,308	360,966	41,342
旅費交通費	4,596,580	5,706,023	▲ 1,109,443
通信運搬費	4,902,739	4,668,654	234,085
備品購入費	2,082,938	1,528,200	554,738
減価償却費	559,485	759,575	▲ 200,090
消耗品費	16,750,399	16,372,175	378,224
修繕費	17,266,931	16,095,569	1,171,362
印刷製本費	2,981,045	3,632,669	▲ 651,624
光熱水費	39,733,557	44,470,352	▲ 4,736,795
保険料	972,662	970,544	2,118
賃借料	8,390,432	8,533,323	▲ 142,891
諸謝金	15,695,796	15,623,198	72,598
租税公課	9,943,621	10,826,175	▲ 882,554
支払負担金	267,500	281,500	▲ 14,000
支払助成金	2,087,071	2,026,112	60,959
委託料	145,164,654	143,278,296	1,886,358
JICA資材費等	191,384	76,746	114,638
雑費	3,050	16,112	▲ 13,062
事業費計	399,913,876	403,665,166	▲ 3,751,290

管理費			
役員報酬	4,399,400	4,429,400	▲ 30,000
給料手当	8,867,057	9,938,222	▲ 1,071,165
臨時雇賃金		70,720	▲ 70,720
福利厚生費	2,581,753	2,086,405	495,348
旅費交通費	1,150,568	1,258,220	▲ 107,652
通信運搬費	192,860	176,936	15,924
備品購入費	63,300	45,230	18,070
減価償却費	20,193	44,755	▲ 24,562
消耗品費	245,570	205,732	39,838
修繕費	63,720		63,720
印刷製本費	268,358	239,410	28,948
光熱水費	182,405	174,621	7,784
保険料	3,627	32,230	▲ 28,603
賃借料	1,386,589	1,402,369	▲ 15,780
諸謝金	40,000	30,000	10,000
委託料	2,008,771	1,872,306	136,465
租税公課	88,579	122,225	▲ 33,646
支払負担金	458,190	416,790	41,400
雑費	4,054	7,374	▲ 3,320
管理費計	22,024,994	22,552,945	▲ 527,951
経常費用計	421,938,870	426,218,111	▲ 4,279,241
評価損益等調整前当期経常増減額	5,598,569	4,278,830	1,319,739
投資有価証券評価損益等	100,000		100,000
評価損益等計	100,000		100,000
当期経常増減額	5,698,569	4,278,830	1,419,739
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
車両運搬具売却損		1	▲ 1
什器備品売却損		9,686	▲ 9,686
什器備品除却損	13,422		13,422
固定資産除却売却損計	13,422	9,687	3,735
経常外費用計	13,422	9,687	3,735
当期経常外増減額	▲ 13,422	▲ 9,687	▲ 3,735
当期一般正味財産増減額	5,685,147	4,269,143	1,416,004
一般正味財産期首残高	54,498,469	50,229,326	4,269,143
一般正味財産期末残高	60,183,616	54,498,469	5,685,147
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,603,721	2,775,120	828,601
受贈投資有価証券受取利息		100,000	▲ 100,000
基本財産運用益計	3,603,721	2,875,120	728,601
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	3,703,721	2,775,120	928,601
当期指定正味財産増減額	▲ 100,000	100,000	▲ 200,000
指定正味財産期首残高	323,266,095	323,166,095	100,000
指定正味財産期末残高	323,166,095	323,266,095	▲ 100,000
III 正味財産期末残高	383,349,711	377,764,564	5,585,147



正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	日本及びアジア地域の女性 の地位向上を 図る事業	男女共同参画社会の 形成を推進する事業	小 計	北九州市大手町ビル 維持管理事業	男女共同参画センター等の 公益目的以外の 費与事業	小 計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,801,860		1,801,860				1,801,861		3,603,721
基本財産運用益計	1,801,860		1,801,860				1,801,861		3,603,721
受取会費									
賛助会員受取会費	232,250		232,250				232,250		464,500
受取会費計	232,250		232,250				232,250		464,500
事業収益									
書籍等販売収益	10,244		10,244						10,244
行事等参加料収益	166,076		166,076				5,000		171,076
事業収益計	176,320		176,320				5,000		181,320
指定管理施設自主事業費収益									
受講料収益		11,911,584	11,911,584						11,911,584
教材費収益		4,093,355	4,093,355						4,093,355
雑収益		239,164	239,164						239,164
指定管理施設自主事業収益計		16,244,103	16,244,103						16,244,103
委託料収益									
国際協力機構委託料収益	5,851,768		5,851,768						5,851,768
委託料収益計	5,851,768		5,851,768						5,851,768
北九州市委託料収益									
北九州市委託金収益		299,922,604	299,922,604	35,305,681	8,698,385	44,004,066			343,926,670
北九州市委託金収益計		299,922,604	299,922,604	35,305,681	8,698,385	44,004,066			343,926,670
受取補助金等									
受取市補助金	36,626,217		36,626,217				20,269,497		56,895,714
受取補助金等計	36,626,217		36,626,217				20,269,497		56,895,714
雑収益									
その他雑収益	3,348	149,580	152,928				216,715		369,643
雑収益計	3,348	149,580	152,928				216,715		369,643
経常収益計	44,691,763	316,316,287	361,008,050	35,305,681	8,698,385	44,004,066	22,525,323		427,537,439
(2) 経常費用									
事業費									
役員報酬	1,859,400	2,479,200	4,338,600						4,338,600
給料手当	16,196,401	85,317,934	101,514,335						101,514,335
臨時雇賃金		680,323	680,323						680,323
福利厚生費	4,422,694	16,965,772	21,388,466						21,388,466
会議費	324,618	77,690	402,308						402,308
旅費交通費	2,959,600	1,636,980	4,596,580						4,596,580
通信運搬費	1,355,941	3,546,798	4,902,739						4,902,739
備品購入費	72,586	2,010,352	2,082,938						2,082,938
減価償却費	47,117	512,368	559,485						559,485
消耗品費	1,053,824	15,696,575	16,750,399						16,750,399
修繕費		12,979,137	12,979,137	4,287,794		4,287,794			17,266,931
印刷製本費	775,563	2,205,482	2,981,045						2,981,045
光熱水費	425,609	26,252,089	26,677,698	10,892,861	2,162,998	13,055,859			39,733,557
保険料	38,043	934,619	972,662						972,662
賃借料	1,756,583	6,633,849	8,390,432						8,390,432
諸謝金	3,626,685	12,069,111	15,695,796						15,695,796
租税公課	108,448	9,835,173	9,943,621						9,943,621
支払負担金	63,000	204,500	267,500						267,500
支払助成金		2,087,071	2,087,071						2,087,071
委託料	8,082,068	110,422,173	118,504,241	20,125,026	6,535,387	26,660,413			145,164,654
JICA資材費等	191,384		191,384						191,384
雑費	3,050		3,050						3,050
事業費計	43,362,614	312,547,196	355,909,810	35,305,681	8,698,385	44,004,066			399,913,876
管理費									
役員報酬							4,399,400		4,399,400
給料手当							8,867,057		8,867,057
福利厚生費							2,581,753		2,581,753
旅費交通費							1,150,568		1,150,568
通信運搬費							192,860		192,860
備品購入費							63,300		63,300
減価償却費							20,193		20,193
消耗品費							245,570		245,570
修繕費							63,720		63,720
印刷製本費							268,358		268,358
光熱水費							182,405		182,405
保険料							3,627		3,627
賃借料							1,386,589		1,386,589
諸謝金							40,000		40,000
委託料							2,008,771		2,008,771
租税公課							88,579		88,579
支払負担金							458,190		458,190
雑費							4,054		4,054
管理費計							22,024,994		22,024,994
経常費用計	43,362,614	312,547,196	355,909,810	35,305,681	8,698,385	44,004,066	22,024,994		421,938,870
評価損益等調整前当期経常増減額	1,329,149	3,769,091	5,098,240	0	0	0	500,329		5,598,569
投資有価証券評価損益等	50,000		50,000				50,000		100,000
評価損益等計	50,000		50,000				50,000		100,000
当期経常増減額	1,379,149	3,769,091	5,148,240	0	0	0	550,329		5,698,569
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計									
(2) 経常外費用									
固定資産売却損									
什器備品除却損	1,598	11,824	13,422						13,422
固定資産除却売却損計	1,598	11,824	13,422						13,422
経常外費用計	1,598	11,824	13,422						13,422
当期経常外増減額	▲ 1,598	▲ 11,824	▲ 13,422						▲ 13,422
当期一般正味財産増減額	1,377,551	3,757,267	5,134,818	0	0	0	550,329		5,685,147
一般正味財産期首残高	10,570,104	34,832,719	45,402,823	0	0	0	9,095,646		54,498,469
一般正味財産期末残高	11,947,655	38,589,986	50,537,641	0	0	0	9,645,975		60,183,616
II 指定正味財産増減の部									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	1,801,860		1,801,860				1,801,861		3,603,721
基本財産運用益計	1,801,860		1,801,860				1,801,861		3,603,721
一般正味財産への振替額									
一般正味財産への振替額	1,851,860		1,851,860				1,851,861		3,703,721
当期指定正味財産増減額	▲ 50,000		▲ 50,000				▲ 50,000		▲ 100,000
指定正味財産期首残高	161,633,048		161,633,048				161,633,047		323,266,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047		323,166,095
III 正味財産期末残高	173,530,703	38,589,986	212,120,689	0	0	0	171,229,022		383,349,711

# 財務諸表に対する注記

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年3月31日現在

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

## 2. 重要な会計方針

(1)「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成26年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券・・・取得原価

(3) 固定資産の減価償却方法

什器備品・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,382	0	0	6,382
投資有価証券	329,339,391	0	0	329,339,391
小計	329,345,773	0	0	329,345,773
合計	329,345,773	0	0	329,345,773

## 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
定期預金	6,382	—	(6,382)	—
投資有価証券	329,339,391	(323,166,095)	(6,173,296)	—
小計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—
合計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	—

## 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	10,517,429	9,710,319	807,110
合計	10,517,429	9,710,319	807,110

## 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
投資有価証券			
29神奈川県20年債	200,000,000	221,680,000	21,680,000
311回10年国債	99,755,000	103,330,000	3,575,000
新潟県25年度第1回公債	20,000,000	20,781,820	781,820
第61回利付国債20年	9,484,391	10,176,681	692,290
155共同発行地方債	100,000	100,500	500
合計	329,339,391	356,069,001	26,729,610

## 7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
市補助金		300,000,000	0	0	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	0	56,895,714	56,895,714	0	一般正味財産
		0	0	0	0	
合計		300,000,000	56,895,714	56,895,714	300,000,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産利息(29神奈川県20年債)	2,578,000
基本財産利息(第311回10年国債)	800,000
基本財産利息(新潟県25年度第1回公債)	130,000
基本財産利息(共同発行市場公募地方債)	100,000
基本財産利息(第61回利付国債20年)	95,500
基本財産利息(155共同発行地方債)	220
基本財産利息(福岡銀行定期預金)	1
小計	3,703,721
合計	3,703,721

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

# 財務諸表の附属明細書

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年3月31日現在

## 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

## 2 引当金の明細

該当なし。

# 財産目録

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

平成29年 3月31日現在



(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>					
	現金		北九州市雑収入納付金	41,206	
			手許現金	3,245	
	普通預金	福岡銀行/北九州市市内支店 /1043638 福岡銀行/北九州市市内支店 /1142547 福岡銀行/北九州市市内支店 /1150434 福岡銀行/北九州市市内支店 /1150451 福岡銀行/北九州市市内支店 /1150442		運転資金として	23,338,489
				〃	30,482,148
				〃	19,660,146
				〃	6,750,564
				〃	1,338,646
				〃	1,132,032
	未収金	ゆうちょ銀行/01780-5-77422	開講講座の受講料	89,944	
	貯蔵品	(株)アベックスほか	公益法人に係る未収金	2,331,144	
仮払金	釣り銭準備金(ムーブ)	公益目的事業に係る貯蔵品	179,000		
	釣り銭準備金(レディス)	公益目的事業に係る仮払金	60,000		
<b>流動資産合計</b>				<b>85,406,564</b>	
<b>(固定資産)</b>					
<b>基本財産</b>					
	定期預金	福岡銀行北九州支店	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	6,382	
<b>特定資産</b>					
<b>その他固定資産</b>					
	投資有価証券	大和証券株式会社ほか	〃	329,339,391	
	什器備品	事務所内	公益目的保有財産	807,110	
	電話加入権	NTT	共有財産であり、うち50%は公益目的財産として公1事業の用に供し、50%は管理運営の用に供している。	490,000	
	出資金	環境パートナーシップ会議		50,000	
<b>固定資産合計</b>				<b>330,692,883</b>	
<b>資産合計</b>				<b>416,099,447</b>	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金	職員ほか	職員に対する3月分未払給与ほか	31,005,272	
	前受金		平成29年度講座受講料	1,132,032	
	預り金	雇用保険料ほか	雇用保険個人負担分ほか	572,126	
	仮受金	施設運営課	市設置印刷機ほかの使用料	40,306	
<b>流動負債合計</b>				<b>32,749,736</b>	
<b>(固定負債)</b>					
<b>負債合計</b>				<b>32,749,736</b>	
<b>正味財産</b>				<b>383,349,711</b>	

# 監査報告書

平成29年 5月 19日

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム  
理事長 堀内光子様

監事 有田徹   
監事 石井佳子 

私たち監事は、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム定款第10条の規定により、理事長から提出された当法人の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業報告及び計算書類等について、平成28年度監査を行いましたので、その方法及び結果について下記のとおり報告します。

## 記

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について監査を実施しました。

### 2 事業報告及びその附属明細書等の監査結果

(1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### 3 計算書類及びその附属明細書等の監査結果

計算書類及びその附属明細書等は、当法人の財産及び損益等の状況を、すべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### 4 重要な後発事象

ありません。

以上